

科目名	地域社会組織論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	田 中 豊 治						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本講義では、「地域社会組織」について理論的・実証的・実践的・政策的にアプローチする。特にここでは「問題解決型の企画立案能力開発」に重点を置き、授業を進める。これまでの「理論的考察」や「実証主義」優先から、「実践・体験」や「政策立案」へと移り、今日では、さらに「支援科学」のあり方をめぐる論争へと展開されている。そこで授業方法としては、「デスクワークからフィールドワークへ」、「ラーニングスタディからポリシーメーキングへ」、さらに「ヘルプやサポートのあり方をめぐる科学的考察」を中心として検討していきたい。						
授 業 の 到達目標	地域生活における人間の基本原理は、「働き・学び・遊び・憩い・暮らし・生きる」ことである。換言すると、「雇用・住宅・保健・医療・人権・教育」など、あらゆる地域資源の充実化を図り、「住民の幸福」と「地域の繁栄」を体感できる豊かな地域社会を創造することである。その「地域社会における自立・共生・協働のための支援政策」をめざす新しい学問体系が「地域生活支援科学」である。 本講義では、地域生活を、大きく「家族生活」＋「地域生活」＋「職場生活」＋「個人生活」という4領域に分類し、さらにそれぞれの領域に対して「個人」「集団」「組織」「地域環境」といった社会的・社会福祉学的視点からアプローチしていく。そして住民のそれぞれのライフステージに合わせて、いかにすればより豊かな人生（QOL）とより幸福な社会になるのか、その「支援のあり方」について学ぶ。						
学習方法	講義						
テキスト及 び参考書等	教科書：田中豊治著『環境と人間の共創』学文社、2007年 参考書：授業時に指示する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎						60
小テスト等		◎					20
宿題・授業外レポート			◎				10
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			◎				10
その他							
合 計							100
(表中の記号 ◎評価する観点 ○評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション（自己紹介、まちづくり組織社会学との出会い、授業概要の説明）						
第 2 週	現代社会と現代人の歴史的・空間的・地球的变化						
第 3 週	地域社会をめぐる社会現象（地域病理）						
第 4 週	地域社会の歴史的変化（構造・機能、中央—地方関係など）						
第 5 週	都市と農村とコミュニティ						
第 6 週	新しい地域コミュニティモデルの探求						
第 7 週	地域社会の活性化とNPO・ボランティア活動						
第 8 週	地域リーダーとまちづくりプロフェッション						
第 9 週	市民参加型協働システム（「まちづくり市民会議」（仮称）など）の組織編成原理						
第 10 週	「まちづくり協働システム」の先進的・成功モデルの検討						
第 11 週	「グローバルな視点」と「アジア—九州—SAGA」というフレームワーク						
第 12 週	「アジア・コミュニティ構想」とナショナルアイデンティティ、パーソナルアイデンティティ						
第 13 週	「まちづくり政策提案書」の作成と関係者への報告・提出						
第 14 週	「地域社会組織論」に関するレポート提出						
第 15 週	まとめと振り返り						
第 16 週							
備 考	授業への出席、集団討論への積極的参加、自分の意見の確立など、主体的行動を期待する。 事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						